

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

(総論部分)

番号	会議等	意見の概要
1 目標の設定について		
①	全員協議会 (11月24日)	県民にわかりやすい指標とするため中間案から見直したということだが、施策121「地域医療提供体制の確保」に掲げる目標項目など、相変わらずわかりにくい指標がある。改めて見直しを行い、本当にわかりやすいものとしていただきたい。
②	健康福祉病院 常任委員会	目標値設定において、人数や件数を増やしていく目標値については、母数となる数値がないと進捗度が把握できない。平成31年度目標値設定理由において記載されているものもあるが、母数となる数値があるものについては明記することを検討していただきたい。
2 「新しい豊かさ」について		
①	戦略企画雇用経済 常任委員会	「新しい豊かさ」の考え方は県民にとって分かりにくい部分もあるため、新たに指標を設定するなど、「新しい豊かさ」について実感できるように検討いただきたい。
②	防災県土整備企業 常任委員会	「新しい豊かさ・協創の視点」の項目については、実際に、県民とどのように協創していくかが読み取れるような記載を検討していただきたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

総務地域連携常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
241	競技スポーツの推進	地域連携部 スポーツ推進局	
242	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	地域連携部 スポーツ推進局	
251	南部地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	伊勢志摩サミットの開催を一過性のものとする ことなく、南部地域全体のさらなる活性化に つなげていくため、ポストサミットに向けた取 組をしっかりと進められたい。
252	東紀州地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	
253	中山間地域・農山漁村の 振興	地域連携部	
254	移住の促進	地域連携部	
256	市町との連携による地域 活性化	地域連携部	
352	公共交通の確保と活用	地域連携部	
354	水資源の確保と土地の計 画的な利用	地域連携部	

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営2	行財政改革の推進による 県行政の自立運営	総務部	
行政運営3	行財政改革の推進による 県財政の的確な運営	総務部	基本事業40301の活動指標「総事業本数」に ついては、限られた県資源を最適配分するた めに、単に事業本数を削減するだけの取組 にはせず、質の担保をどのように確保して いくのかという視点も重視して取組を進め られたい。
行政運営6	情報システムの安定運用	地域連携部	基本事業40604の活動指標「携帯電話の 不通地域数の整備数」の目標値の設定につ いては、地域的に大変厳しいところが残さ れてきているという認識の中で設定され たと思うが、地域の住民のため、更なる 推進に向けて取組を進められたい。

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

--

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

戦略企画雇用経済常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
227	地域と若者の未来を拓く 高等教育機関の充実	戦略企画部	
321	中小企業・小規模企業の 振興	雇用経済部	
322	ものづくり・成長産業の振 興	雇用経済部	
323	「食」の産業振興	雇用経済部	
324	地域エネルギー力の向上	雇用経済部	
325	戦略的な企業誘致の推進 と県内再投資の促進	雇用経済部	
331	国際展開の推進	雇用経済部	
332	観光の産業化と海外誘客 の促進	雇用経済部	
333	三重の戦略的な営業活動	雇用経済部	
341	次代を担う若者の就労支 援	雇用経済部	
342	多様な働き方の推進	雇用経済部	

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営1	「みえ県民カビジョン」の推 進	戦略企画部	県民指標等の目標値は、未達成の場合にも説明責任を十分果たせるよう、数値の積み上げなど具体的な根拠をもって設定するなど検討いただきたい。
行政運営4	適正な会計事務の確保	出納局	
行政運営5	広聴広報の充実	戦略企画部	

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

○「新しい豊かさ」の考え方は県民にとって分かりにくい部分もあるため、新たに指標を設定するなど、「新しい豊かさ」について実感できるよう検討いただきたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

環境生活農林水産常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
142	交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	環境生活部	
143	消費生活の安全の確保	環境生活部	
147	獣害対策の推進	農林水産部	
151	地球温暖化対策の推進	環境生活部	
152	廃棄物総合対策の推進	環境生活部	
153	豊かな自然環境の保全と活用	農林水産部	
154	大気・水環境の保全	環境生活部	
211	人権が尊重される社会づくり	環境生活部	
212	あらゆる分野における女性活躍の推進	環境生活部	
213	多文化共生社会づくり	環境生活部	
228	文化と生涯学習の振興	環境生活部	
255	協創のネットワークづくり	環境生活部	
311	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出	農林水産部	
312	農業の振興	農林水産部	新規就農希望者の中で有機農業を志す者もいることから、県としても、有機農業を推進する必要があると考えるがいかがか。また、そのことについて、ビジョン・行動計画への記述も考えてはどうか。
313	林業の振興と森林づくり	農林水産部	
314	水産業の振興	農林水産部	

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

--

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

健康福祉病院常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
121	地域医療提供体制の確保	健康福祉部	<p>県民指標の地域医療安心度指数は分かりにくく、指数を構成するアンケート項目のうち「地域医療に対する理解度」については、意図する理解度を示すのに有効なのか疑問が残る。</p> <p>地域医療における医師の確保数や全国比較した診療科別の数値など、医師の地域偏在、診療科目間偏在の解消をめざした具体的な実数を県の活動指標に掲げて取り組むことも要望する。</p>
122	介護の基盤整備と人材の育成・確保	健康福祉部	
123	がん対策の推進	健康福祉部	
124	こころと身体健康対策の推進	健康福祉部	
131	障がい者の自立と共生	健康福祉部	
132	支え合いの福祉社会づくり	健康福祉部	
144	薬物乱用防止と動物愛護の推進等	健康福祉部	
145	食の安全・安心の確保	健康福祉部	
146	感染症の予防と拡大防止対策の推進	健康福祉部	
231	少子化対策を進めるための環境づくり	健康福祉部	
232	結婚・妊娠・出産の支援	健康福祉部	
233	子育て支援と家庭・幼児教育の充実	健康福祉部	
234	児童虐待の防止と社会的養護の推進	健康福祉部	

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

○目標値設定において、人数や件数を増やしていく目標値については、母数となる数値がないと進捗度が把握できない。平成31年度目標値設定理由において記載されているものもあるが、母数となる数値があるものについては明記することを検討していただきたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

防災県土整備企業常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
111	災害から地域を守る人づくり	防災対策部	
112	防災・減災対策を進める体制づくり	防災対策部	
113	治山・治水・海岸保全の推進	県土整備部	堆積土砂撤去を推進する一方で、土砂の発生を抑制する取組について、関係部局と情報共有のうえ連携し検討いただきたい。
351	道路網・港湾整備の推進	県土整備部	
353	安全で快適な住まいまちづくり	県土整備部	

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営7	公共事業推進の支援	県土整備部	

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

○「新しい豊かさ・協創の視点」の項目については、実際に、県民とどのように協創していくかが読み取れるような記載を検討していただきたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

教育警察常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
141	犯罪に強いまちづくり	警察本部	
221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育委員会	「県民の皆さんとめざす姿」から考えると県民指標の「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」はそぐわない。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」を県民指標に用いるのがよい。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」という県民指標では、「夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成」という施策を総合的に評価するものとはいえないので、全国学力・学習状況調査を用いるとしても、全国平均を上回った教科数だけでなく、児童生徒質問紙調査の項目も取り入れるなどして、施策を総合的に評価できるようにすべきである。
			キャリア教育の推進における目標項目が「高等学校(全日制)においてインターンシップを体験した生徒の割合」から「地域等の人材を招聘した授業等を行っている学校の割合」に変更されているが、「インターンシップを体験した生徒の割合」も重要であり、これも含まれるよう記載していただきたい。
222	人・自然の中で伸びゆく豊かな心の育成	教育委員会	
223	健やかに生きていくための身体の育成	教育委員会	食育の推進にあたっては、朝食を毎日食べている子どもたちの割合だけでなく、朝食の内容、朝食を食べられない理由などにも注意を向ける必要がある。
224	自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	教育委員会	
225	笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	教育委員会	
226	地域に開かれ信頼される学校づくり	教育委員会	小規模校の適正規模、適正配置について、三重県教育施策大綱(仮称)における当議会からの意見への対応・回答において、「個別具体的な状況をふまえて検討が必要な事項」とあるので、その旨を記載していただきたい。

※教育警察常任委員会が所管する主担当部局以外の施策

112	防災・減災対策を進める体制づくり	防災対策部	教育委員会が主担当となる基本事業11206「教育施設の防災対策」について、現状値と目標値の関係の説明が不足しており、誤解を生じやすいため、記述を工夫していただきたい。
-----	------------------	-------	---

施策・行政運営の取組以外(基本的な考え方、重点取組など)に関する意見

--

「第二次三重県行財政改革取組(仮称)」《中間案》に対する意見

【全員協議会(H27.11.24)における意見】

番号	会議等	意見内容
①	全員協議会	総事業本数の削減が機動的な財政運営の確保につながるよう、単に量だけの取組とはせず、質の部分で、本当に効果のあるスクラップアンドビルドがどれくらいできているのかがわかるように運営されたい。
②	全員協議会	メンタル疾患の予防を予兆段階から更に強化していこうとするストレスチェック制度が平成27年12月から義務化されることを受け、本県でも、職員のメンタルヘルス不調の未然防止などを確実に図っていくことを行財政改革の中でも検討されたい。

【総務地域連携常任委員会(H27.12.14)における意見】

番号	会議等	意見内容
①	総務地域連携常任委員会	様々な行財政改革の取組は、最終的には県民の皆さんへの多様なサービスを向上させていくことに繋がっていくものと思われる。このことは、個々の行財政改革取組を進めていく前提としても、大変、重要なことであるため、最終案には、この部分をしっかりと明文化したうえで、更なる行財政改革取組について検討を進められたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案に基づく今後の「県政運営」等に関する申入書（案）

平成28年1月27日

三重県議会議長	中村進一
三重県議会副議長	中森博文
総務地域連携常任委員会 委員長	藤根正典
戦略企画雇用経済常任委員会 委員長	田中智也
環境生活農林水産常任委員会 委員長	東 豊
健康福祉病院常任委員会 委員長	石田成生
防災県土整備企業常任委員会 委員長	中村欣一郎
教育警察常任委員会 委員長	小島智子

平成27年11月24日に開催した全員協議会において、県当局から、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案が提示されました。これに先立って実施した「第二次行動計画」（仮称）中間案及び「次期の行財政改革取組」素案に関する知事への提言では、ビジョン関係で重点取組や県民指標などを、行財政改革取組関係で人づくり改革や組織風土づくりなどの項目について申し入れを行ったところであり、県当局からは、今回、提示された第二次行動計画（仮称）最終案等の提示に併せて、これら提言項目についての回答も受けたところです。

今回、これらの提言項目に対する回答も踏まえたなかで策定された「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案等の説明を受けて、県議会としては、地方自治の本旨に基づく県民の負託に的確に答えるため、再度、全員協議会や各行政部門別常任委員会において、更なる詳細な調査を行ってきました。

知事におかれましては、次に掲げる事項を、県民の皆さんや市町からの意見とあわせて、年度内に策定される「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）及び「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）最終案に十分、反映されるよう申し入れいたします。

1 「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）最終案 について

(1) 目標の設定について（1目標の設定について ①②関係）

「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」（仮称）中間案の知事申入れにおいて、県民の立場からみて分かりにくい指標が設定されていることから、より県民の視点に立った分かりやすい指標となるよう要望をしたところであります。

しかしながら、施策121「地域医療提供体制の確保」に掲げる目標項目など、最終案においても県民の立場からは分かりにくいと思われる指標が設定されていることから、更なる検討を重ね、県民にとって真に理解されやすい指標とすることを要望します。

また、目標値の設定について、人数や件数などの数値を増やしていく指標は、その数値の占める割合がどのくらいあるのか確認できるよう、可能な限り全体数を明記し、実質的な進捗状況の把握ができるよう要望します。

(2) 「新しい豊かさ」における県民の実感について

(2「新しい豊かさ」について ①関係)

「第二次行動計画」（仮称）において、「新しい豊かさ」が、「経

「経済的な豊かさ」、「社会のシステムやつながりの豊かさ」、「精神的な豊かさ」の3つの豊かさ全てを高めていくことで、享受できる豊かさであることと新たに定義されましたが、この「新しい豊かさ」について、県民が理解し、実感できるようにしていく必要があります。

そこで、「新しい豊かさ」をはかる新たな指標を設定するなど、県民の「新しい豊かさ」についての実感が多く得られるよう検討されることを要望します。

(3) 「新しい豊かさ・協創の視点」について

(2「新しい豊かさ」について ②関係)

「協創」は、一人ひとりの個人をはじめ、NPO、ボランティア、地域の団体、企業及び行政それぞれが「公」を担う主体として自立し、行動することで、協働による成果を生み出し、新しいものを創造していく概念であり、本県の県政運営を進めていくうえで重要な考えの一つであります。

しかしながら、「第二次行動計画」(仮称)で追加された「新しい豊かさ・協創の視点」に記載されている内容は、「協創」の視点からの記述が不明確なものもあることから、実際に、県民とど

のように協創を行っていくかが読み取れる内容となるよう検討されることを要望します。

2 「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案について

（1）行財政改革取組の全般関係（常任①関係）

今回の「第二次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案では、「協創・現場重視の推進」や「機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営」、「残された課題への的確な対応」の3つの柱ごとに、それぞれ具体的な行財政改革の取組が提示されたところです。

これらの具体的な行財政改革取組は、それぞれ最終的には県民の皆さんへの多様なサービスを向上させていくことにも繋がっていくものであると考えられます。このことは、今後、個々の具体的な取組を進めていく前提においても、大変、重要なことであるため、最終案には、この部分をしっかりと明文化したうえで、更なる行財政改革の取組について検討を進められるよう要望します。

（2）機動的な財政運営の確保（全協①関係）

また、行財政改革の具体的な取組の一つとして、機動的な財政運営の確保に向けて、事業のスクラップアンドビルドの徹底など、総事

業本数の削減に向けた取組を進められようとしています。

この総事業本数の削減が、真に機動的な財政運営の確保につながるよう、単に数量だけの取組とはせず、質の部分で、本当に効果のあるスクラップアンドビルドがどれくらいできているのかがわかるように運営されるよう要望します。

(3) 職員のメンタルヘルス不調の未然防止などの推進（全協②関係）

更に、昨年12月からは、メンタル疾患の予防を予兆段階から更に強化していこうとするストレスチェック制度が義務化されたところではあります。

このため、本県においても、職員のメンタルヘルス不調の未然防止などを確実に図っていくことを行財政改革の取組の中でも検討されるよう要望します。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」

(仮称) 最終案 に対する意見

(各行政部門別常任委員会集約分)

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

■総務地域連携常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
251	南部地域の活性化	地域連携部 南部地域活性化局	伊勢志摩サミットの開催を一過性のものとすることなく、南部地域全体のさらなる活性化につなげていくため、ポストサミットに向けた取組をしっかりと進められたい。

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営3	行財政改革の推進による 県財政の的確な運営	総務部	基本事業40301の活動指標「総事業本数」については、限られた県資源を最適配分するため、単に事業本数を削減するだけの取組にはせず、質の担保をどのように確保していくのかという視点も重視して取組を進められたい。
行政運営6	情報システムの安定運用	地域連携部	基本事業40604の活動指標「携帯電話の不通話地域の整備数」の目標値の設定については、地域的に大変厳しいところが残されてきているという認識の中で設定されたと思うが、地域の住民のため、更なる推進に向けて取組を進められたい。

■戦略企画雇用経済常任委員会

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見
行政運営1	「みえ県民カビジョン」の 推進	戦略企画部	県民指標等の目標値は、未達成の場合にも説明責任を十分果たせるよう、数値の積み上げなど具体的な根拠をもって設定するなど検討いただきたい。

「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

■環境生活農林水産常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
312	農業の振興	農林水産部	新規就農希望者の中で有機農業を志す者もいることから、県としても、有機農業を推進する必要があると考えるがいかがか。また、そのことについて、ビジョン・行動計画への記述も考えてはどうか。

■健康福祉病院常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
121	地域医療提供体制の確保	健康福祉部	<p>県民指標の地域医療安心度指数は分かりにくく、指数を構成するアンケート項目のうち「地域医療に対する理解度」については、意図する理解度を示すのに有効なのか疑問が残る。</p> <p>地域医療における医師の確保数や全国比較した診療科別の数値など、医師の地域偏在、診療科目間偏在の解消をめざした具体的な実数を県の活動指標に掲げて取り組むことも要望する。</p>

■防災県土整備企業常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
113	治山・治水・海岸保全の推進	県土整備部	堆積土砂撤去を推進する一方で、土砂の発生を抑制する取組について、関係部局と情報共有のうえ連携し検討いただきたい。

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」(仮称)《最終案》に対する意見

■教育警察常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局	委員会意見
221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育委員会	「県民の皆さんとめざす姿」から考えると県民指標の「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」はすぐわない。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」を県民指標に用いるのがよい。
			「全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数」という県民指標では、「夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成」という施策を総合的に評価するものとはいえないので、全国学力・学習状況調査を用いるとしても、全国平均を上回った教科数だけでなく、児童生徒質問紙調査の項目も取り入れるなどして、施策を総合的に評価できるようにすべきである。
			キャリア教育の推進における目標項目が「高等学校（全日制）においてインターンシップを体験した生徒の割合」から「地域等の人材を招聘した授業等を行っている学校の割合」に変更されているが、「インターンシップを体験した生徒の割合」も重要であり、これも含まれるよう記載していただきたい。
223	健やかに生きていくための身体の育成	教育委員会	食育の推進にあたっては、朝食を毎日食べている子どもたちの割合だけでなく、朝食の内容、朝食を食べられない理由などにも注意を向ける必要がある。
226	地域に開かれ信頼される学校づくり	教育委員会	小規模校の適正規模、適正配置について、三重県教育施策大綱（仮称）における当議会からの意見への対応・回答において、「個別具体的な状況をふまえて検討が必要な事項」とあるので、その旨を記載していただきたい。

※教育警察常任委員会が所管する主担当部局以外の施策

112	防災・減災対策を進める体制づくり	防災対策部	教育委員会が主担当となる基本事業11206「教育施設の防災対策」について、現状値と目標値の関係の説明が不足しており、誤解を生じやすいため、記述を工夫していただきたい。
-----	------------------	-------	---